

# Sun Cobalt™ コントロールステーション

---

ハードウェアの管理とアップグレード



Copyright © 1997-2002 Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, California 95054, U.S.A. All rights reserved.

本書の製品に使われているテクノロジーに関する知的所有権は、Sun Microsystems, Inc. が所有しています。当該知的所有権は、<http://www.sun.com/patents> に掲載されている米国特許、米国およびその他の国で取得済みまたは申請中の特許などがすべて含まれます。

本書および製品は、その使用、複製、再頒布および逆コンパイルを制限するライセンスに基づいて頒布されます。Sun Microsystems, Inc. またはそのライセンス許諾者の書面による事前の許可なくして、本書または製品のいかなる部分もいかなる手段および形式によっても複製することを禁じます。

本製品に含まれるサードパーティーソフトウェア（フォントに関するテクノロジーを含む）は、著作権を有する当該各社より Sun 社へライセンス供与されているものです。

本製品の一部は、Berkeley BSD systems に由来し、University of California からライセンスを受けています。UNIX は、X/Open Company, Ltd. の米国ならびに他の国における登録商標で、X/Open Company, Ltd. が所有する独占的ライセンス供与権に基づいて、Sun 社にライセンス供与されています。

Sun, Sun Microsystems, Sun のロゴマーク、Java, JavaScript, JDK, Sun Cobalt, Sun Cobalt RaQ, Sun Cobalt CacheRaQ, Sun Cobalt Qube, Sun Cobalt のロゴマークは、Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Netscape および Netscape Navigator は、Netscape Communication Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Linux は Linus Torvalds 氏の商標です。

Federal Acquisitions: Commercial Software - Government Users Subject to Standard License Terms and Conditions.

本書は、「あるがまま」の形で提供され、法律により免責が認められない場合を除き、商品性、特定目的への適合性、第三者の権利の非侵害に関する暗黙の保証を含む、いかなる明示的および暗示的な保証も伴わないものとします。

Copyright © 1997-2002 Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, California 95054, U.S.A. Tous droits réservés.

Sun Microsystems, Inc. détient des droits de propriété intellectuelle sur la technologie réunie dans le produit qui est décrit par ce document. Ces droits de propriété intellectuelle peuvent s'appliquer en particulier, sans toutefois s'y limiter, à un ou plusieurs brevets américains répertoriés à l'adresse <http://www.sun.com/patents> et à un ou plusieurs brevets supplémentaires ou brevets en instance aux Etats-Unis et dans d'autres pays.

Ce produit ou document est distribué avec des licences qui en restreignent l'utilisation, la copie, la distribution et la décompilation. Aucune partie de ce produit ou document ne peut être reproduite sous aucune forme, par quelque moyen que ce soit, sans l'autorisation préalable et écrite de Sun et de ses bailleurs de licence, s'il y en a.

Le logiciel détenu par des tiers, et qui comprend la technologie relative aux polices de caractères, est protégé par un copyright et licencié par des fournisseurs de Sun.

Des parties de ce produit pourront être dérivées des systèmes Berkeley BSD licenciés par l'Université de Californie. UNIX est une marque déposée aux Etats-Unis et dans d'autres pays et licenciée exclusivement par X/Open Company, Ltd.

Sun, Sun Microsystems, le logo Sun, Java, JavaScript, JDK, Sun Cobalt, Sun Cobalt RaQ, Sun Cobalt CacheRaQ, Sun Cobalt Qube et le logo Sun Cobalt sont des marques de fabrique ou des marques déposées de Sun Microsystems, Inc. aux Etats-Unis et dans d'autres pays.

Netscape et Netscape Navigator sont des marques de fabrique ou des marques déposées de Netscape Communication Corporation aux Etats-Unis et dans d'autres pays.

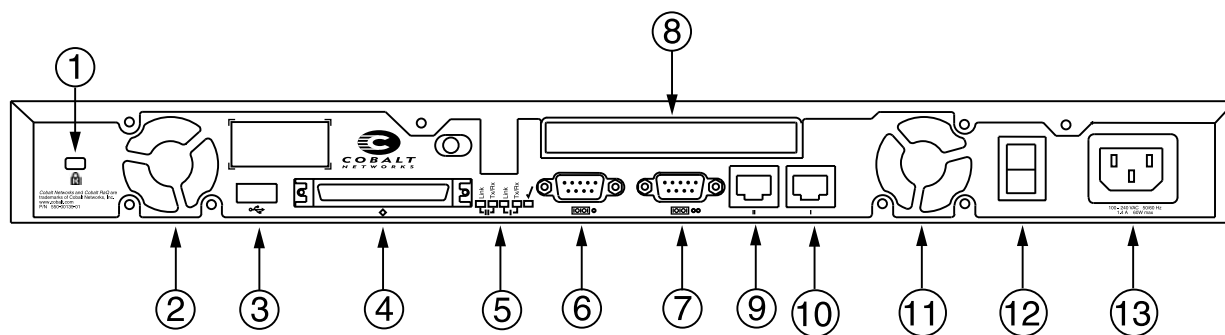
Linux est une marque de fabrique de Linus Torvalds.

LA DOCUMENTATION EST FOURNIE "EN L'ETAT" ET TOUTES AUTRES CONDITIONS, DECLARATIONS ET GARANTIES EXPRESSES OU TACITES SONT FORMELLEMENT EXCLUES, DANS LA MESURE AUTORISEE PAR LA LOI APPLICABLE, Y COMPRIS NOTAMMENT TOUTE GARANTIE IMPLICITE RELATIVE A LA QUALITE MARCHANDE, A L'APTITUDE A UNE UTILISATION PARTICULIERE OU A L'ABSENCE DE CONTREFAÇON.

部品番号 / Numéro de pièce : **816-3398-11 Rev A**



図1 Sun Cobalt コントロールステーションの背面パネル

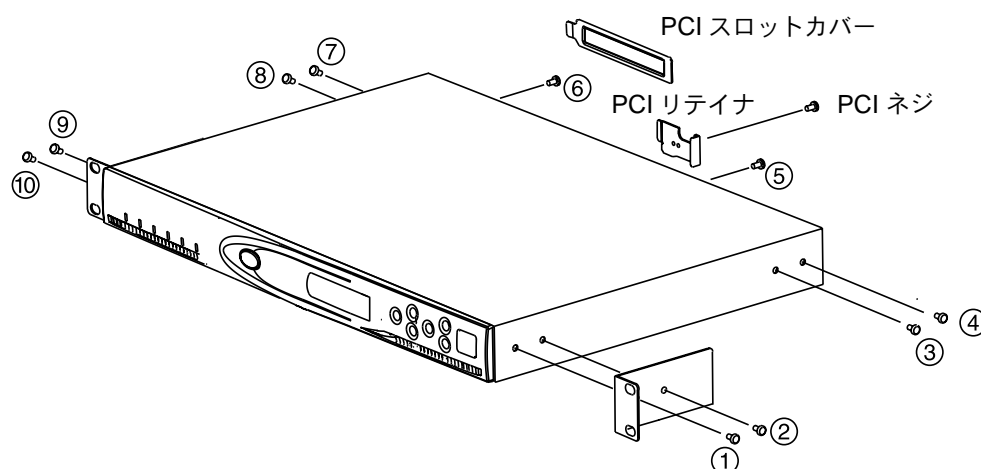


1. セキュリティロックホールには、盗難防止用のセキュリティケーブルを取り付けられます。
2. 冷却ファンは適切な動作温度を保ちます。通気孔がふさがれていないことをお確かめください。
3. **USB ポート**は、ユニバーサルシリアルバス（USB）の接続に使用します。
4. **SCSI コネクタ**は、ハードディスクなどの装置の SCSI 接続に使用します。
5. ネットワークステータス表示灯「電源オフ OK」ライトは、ネットワークの使用状況や情報を示します。「電源オフ OK」ライトは、安全に電源を切れる状態になると点滅します。
6. シリアルコンソールポートは、シリアルデバイスの接続に使用します。
7. シリアルコネクタは、シリアルポートを介して UPS を接続するときに使用します。Sun Cobalt コントロールステーションでは、Smart UPS がサポートされています。
8. **PCI 拡張スロット**は、PCI カードの増設に使用します。

ネットワークコネクタは、イーサネットネットワーク接続を可能にする 10/100 BaseT ネットワークケーブルの接続に使用します。

9. ネットワーク接続 2
10. ネットワーク接続 1
11. 冷却ファン
12. 電源スイッチは、電源のオン／オフに使用します。
13. 電源ソケットは、付属の AC 電源コードの接続に使用します。

図 2 Sun Cobalt コントロールステーションの上部カバー



## PCI カードの追加

Sun Cobalt コントロールステーションの筐体は、シングルラックユニット（1RU）エンクロージャです。Sun Cobalt コントロールステーションに追加する部品を購入する前に、その部品のタイプとサイズをご確認ください。

### PCI カードの仕様

PCI 拡張スロットには、標準的な PCI カードを使用できます。長いカード用のスペースも用意されています。PCI カードの長さは、267mm（10.5 インチ）未満でなければなりません。

PCI カードの供給電圧は以下のとおりです。

- 5V @ 1A
- +12V @ 0.5A
- -12V @ 0.1A

アップグレード中に電子機器やその他の部品を壊さないよう十分にご注意ください。



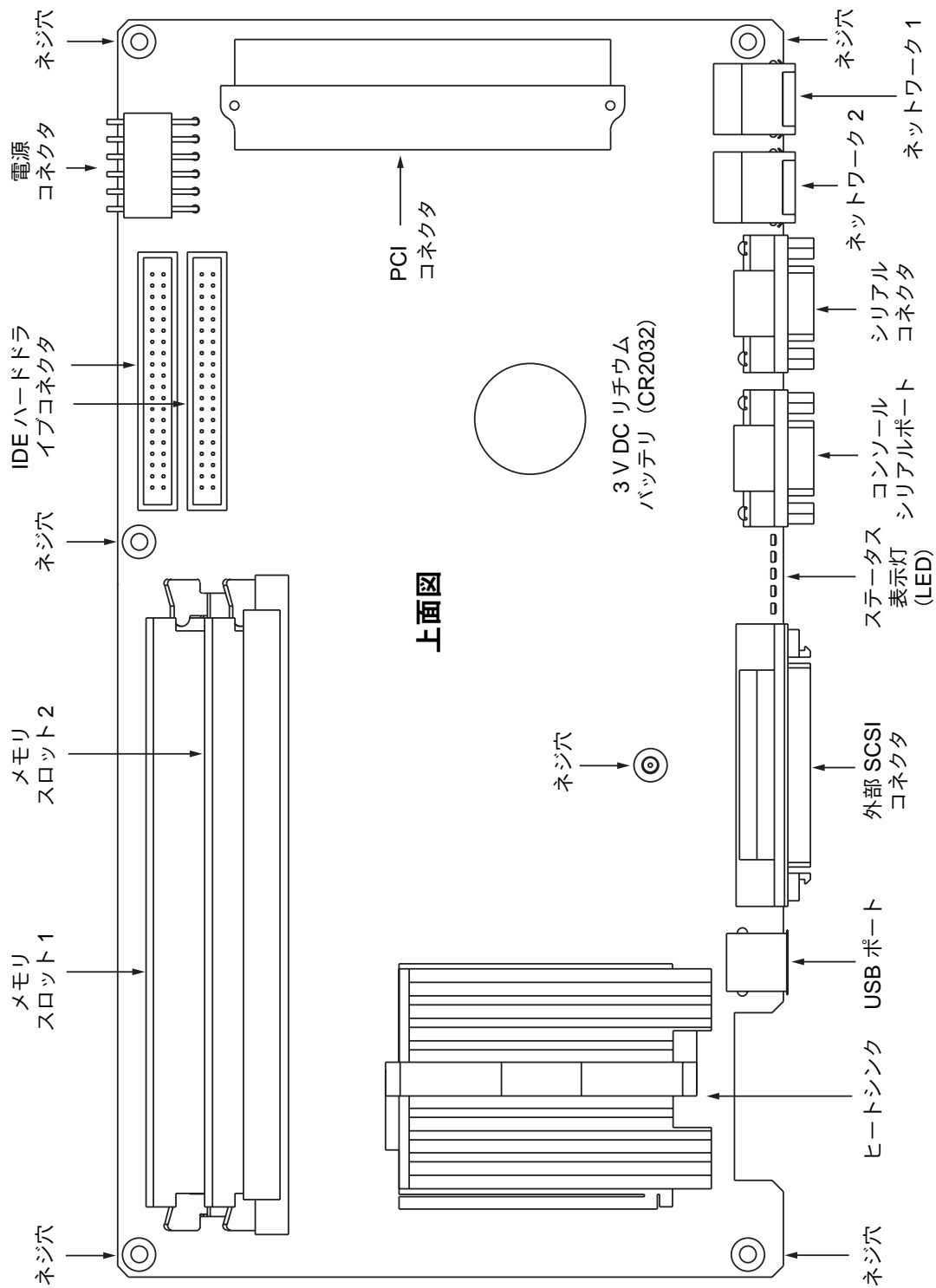
**ご注意：** 静電放電（ESD）接地リストストラップを着用してください。

1. PCI スロットカバーを外して、そのリテイナ、ネジ 1 本を外します。図 2 をご参照ください。
2. PCI コネクタから保護カバーを外します。
3. PCI カードを PCI コネクタに差し込みます。図 3 をご参照ください。
4. PCI リテイナとネジを元に戻して、PCI カードを所定の位置に配置します。
5. あとで PCI カードを取り外す必要の生じた場合を考えて、PCI スロットカバーは保管しておきます。
6. コントロールステーションの上部カバーを元に戻します。
7. 上部カバーを適切な位置に配置し、10 本のネジを元に戻して上部カバーを固定します。図 2 をご参照ください。

## プリント基板

図3に、Sun Cobalt コントロールステーション内部にあるプリント基板（PCB）のレイアウトを示します。

図3 プリント基板のレイアウト



## ハードドライブの交換

Sun Cobaltコントロールステーションのハードドライブが故障した場合は、故障したハードドライブを交換できます。

### ハードドライブの仕様

Sun Microsystems では、表 1 に示す使用を満たすハードドライブをお使いになるようお勧めします。これらの仕様を満たさないハードドライブを使うと、サーバの信頼性に問題の生じる可能性があります。

表 1 ハードドライブの仕様

仕様	値
ピーク電流	以下の値を越えないこと 最高 1.8 アンペア (12V) 最高 0.7 アンペア (5V)
回転速度	5400 rpm
インターフェイス	Ultra ATA-33 EIDE あるいはより高速のもの
動作温度	最高 55 °C までの環境下で動作可能な必要あり
動作湿度	10% ~ 90% (結露なきこと)

### 必要なもの

Sun Cobalt コントロールステーションがラックに取り付けられている場合は、コントロールステーションをラックから取り出して作業を行ってください。Sun Cobalt コントロールステーションがラックに取り付けられた状態で、ハードウェアのアップグレードを行わないでください。

ハードドライブを交換する前に、以下の物をご用意ください。

- 表 1 の仕様を満たすハードドライブ
- #2 のプラスドライバー



**ご注意：** 故障したハードドライブを交換する場合には、故障したドライブと同一容量のハードドライブと交換してください。



**ご注意：** 静電放電 (ESD) 接地リストストラップを着用してください。

## 概要



**警告：** Sun Cobalt コントロールステーションサーバに装備されていたハードディスクを、別の Sun Cobalt コントロールステーションサーバに取り付けしないでください。

また、RAID 用にパーティションされていたハードドライブは、追加ドライブ（非 RAID）として Sun Cobalt コントロールステーションに設置しないでください。



**ご参考：** システムに付属のハードドライブ（Sun Microsystems 社がサーバに設置したハードドライブ）が故障したため交換する必要がある場合は、Sun Cobalt のテクニカルサポートに連絡し、ハードドライブを返送する手続きをしてください。

「Sun Microsystems 社の連絡先」PDF ファイルをご参照ください。

故障したハードドライブの交換には、いくつかのステップが含まれます。実際の手順について以下に示します。

1. コントロールステーションの電源を切断します。「LCD コンソールの操作」PDF ファイルの「電源切断」の章をご参照ください。
2. コントロールステーションのケースを開きます。
3. 故障したハードドライブを取り出します。
4. 新しいハードドライブを設置します。
5. コントロールステーションのケースを閉じます。
6. コントロールステーションを再起動します。システムを再起動すると、新しいハードドライブが自動的に認識されます。

コントロールステーションは、自動的に新しいハードディスクを既存のハードディスクと同期させ、ディスクミラーリング（RAID-1）を回復します。



**ご参考：** 同期処理中、Sun Cobalt コントロールステーションはディスクミラーリングを提供できません。

## ハードドライブの取り外し

最初に、コントロールステーションの上部カバーを外します（「Sun Cobalt コントロールステーションの筐体を開ける」(p.1-1) 参照）。

ハードドライブの取り外しは、次の手順で行います。

1. IDE ケーブルをハードドライブから抜きます（図 4 参照）。
2. 電源ケーブルをハードドライブから抜きます（図 5 参照）。
3. ハードドライブのブラケットをシャーシに固定しているネジを外します。
4. ブラケットをシャーシの金属性タブ上でスライドさせて、ブラケットとハードドライブを持ち上げます。
5. ブラケット下側で、ハードドライブをブラケットに固定しているネジ 4 本を外します。
6. ハードドライブをブラケットから外します。

図 4 に、Sun Cobalt コントロールステーションの IDE ケーブルのレイアウトを示します。

図 4 IDE ケーブルのレイアウト

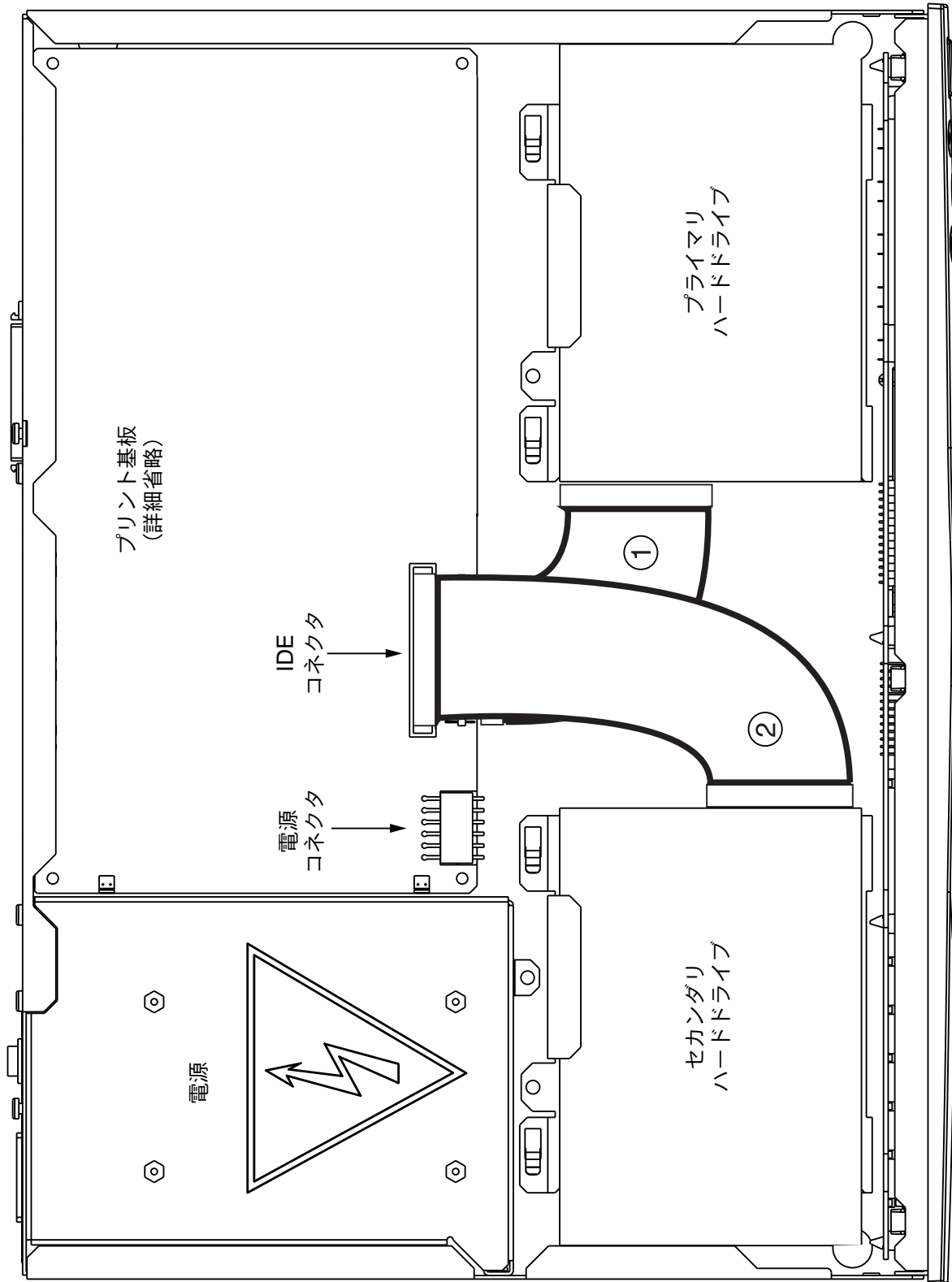
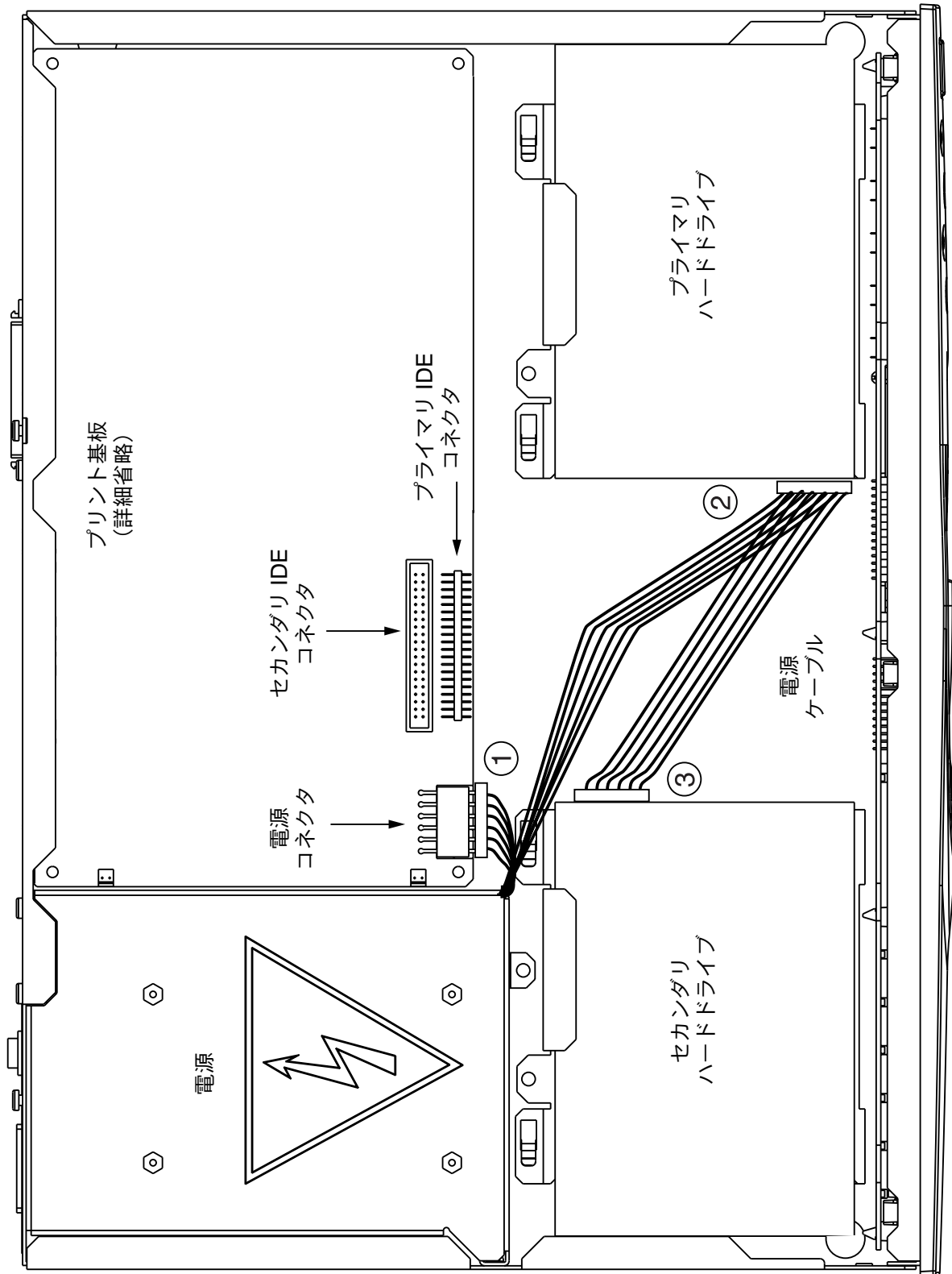


図5に、Sun Cobalt コントロールステーションの電源ケーブルのレイアウトを示します。

図5 電源ケーブルのレイアウト



## ハードドライブの取り付け



**警告：** Sun Cobalt コントロールステーションサーバに装備されていたハードディスクを、別の Sun Cobalt コントロールステーションサーバに取り付けしないでください。

また、RAID 用にパーティションされていたハードドライブは、追加ドライブ（非 RAID）として Sun Cobalt コントロールステーションに設置しないでください。



**ご注意：** アップグレード中に電子機器やその他の部品を壊さないよう十分にご注意ください。



**ご注意：** 静電放電（ESD）接地リストストラップを着用してください。

ハードドライブの取り付けは、次の手順で行います。

1. 前の手順で取り外したブラケットに新しいハードドライブを配置します。
2. ブラケット下側で、ネジ4本を使ってハードドライブをブラケットに固定します。



**ご注意：** ブラケットをシャーシに戻す際は、ブラケットの下にケーブルをはさまないようにご注意ください。

3. ハードドライブ付きのブラケットをシャーシに戻し、金属タブ上をスライドさせます。その際、ハードドライブのコネクタがシャーシの中央（電源の隣に位置するフォームパッドの側）を向くようにします。
4. 外しておいた4本のネジを使い、ブラケットををシャーシに取り付けます。

## ハードドライブの接続

ハードドライブの接続は、次の手順で行います。

1. Y コネクタ電源ケーブルをハードドライブに差し込みます（図 5 参照）。コネクタは正しい方向で差し込んでください。
2. IDE ケーブルをハードドライブに差し込みます（図 4 参照）。コネクタは正しい方向で差し込んでください。

## 上部カバーの取り付けと Sun Cobalt コントロールステーションの再起動

上部カバーの取り付けと Sun Cobalt コントロールステーションの再起動は、次の手順で行います。

1. 上部カバーを適切な位置に配置し、取り外した 10 本のネジを取り付けます（図 2 (p.1-3) 参照）。
2. コントロールステーションの背面パネルに電源コードを接続します。
3. コントロールステーションの電源を入れます。コントロールステーションは、通常通りに起動します。



**ご参考：** システムを再起動すると、新しいハードドライブが自動的に認識されます。

Sun Cobalt コントロールステーションは、自動的に新しいハードディスクを既存のハードディスクと同期させ、ディスクミラーリングを回復します。同期処理中、Sun Cobalt コントロールステーションはディスクミラーリングを提供できません。